

公表

事業所における自己評価結果【児発】

事業所名	デイサービスレイラ二名護大東		公表日		2026年5月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		発達支援室は72㎡で十分である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		法令に則った職員配置人数です	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			現在室内で車いすを使用する児童はおりません
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎朝、始業前の全員参加による清掃作業により清潔感を維持している	経年劣化により発達支援室のフロアマットの洗浄が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンの必要に応じて、静養室を使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		PDCAサイクルの勉強会を年一回の頻度で行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月例の職員会議にて職員全員にて評価内容を把握し改善について協議している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		現在、第三者評価の依頼先を模索中、今年度中に達成できるよう努める
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		今期よりジョブメドレーアカデミーソフトを導入し毎月全員参加形式で受講し、知識向上に努めています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		児発管より各児童担当職員へ詳細についてのヒアリングおよび会議を行い、充実した内容の支援プログラムを作成、および公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		No11に同じ	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		No11に同じ	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		No11に同じ	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		リタリコ発達ナビソフトのツールを活用	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎朝の朝会では前日の振り返りと当日支援について全職員にて情報共有を欠かさず行っている	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		同上	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		No 11に同じ	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝の朝会では前日の振り返りと当日支援について全職員にて情報共有を欠かさず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・職員間の情報共有は欠かさず行っている ・全職員のグループラインも活用	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		事業所日誌にて記録および情報共有を徹底し、支援の検証・改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管と各児童の担当職員が率先して参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		社会福祉協議会および各教育機関と適時、情報交換を行い連携することができている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		ケース会議等、必要に応じて情報共有を積極的に行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		1		現在、名護市に児童発達支援センターが設立されていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		今年度中に一度は機会を設けたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		外部委託でのペアトレ講習の案内文を適時配布している	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		入所契約時に全項目を質疑応答の方式で読み合わせすることで理解度が上がるように努めています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		初年度に保護者交流会を開催した後、未開催であったため、今年度は8月に開催を予定している
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		報連相は職員一同意識徹底しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		各児童の保護者へ活動画像を定期的にラインで配信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に関するデータ一切の社外持ち出し禁止を徹底している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		昨年度はハロウィンイベントにて近隣の住民へ協力依頼をかけ参加していただくことができた	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成、所内に掲示しており実際に発生した場合を想定し予行演習を実施している	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年間計画を元に、定期的にBCP読み合わせ、各種訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		全職員、周知徹底している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		全職員、周知徹底している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		発生した翌日に全体会議で協議して再発防止策を定めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待は絶対に行ってはいけない趣旨の資料を読み合わせ、研修ソフト受講、参考動画視聴での意識づけを徹底しています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			